

今回 STEP2【代表的なご意見】(抜粋)

- こどもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、**どんな人でも受け入れられる**
- 色々な事情がある方の**プライバシーが守られて、安心して相談**することができる
- 新庁舎に行かなくても、申請等の**手続きがオンライン**でできる
- **市職員が働きやすく、生き活き**できる
- 用事が無くても、**誰もが集い交流**ができる
- **まちのシンボル**となる、市の中心的存在
- **柔軟に使える庁舎**で、時代や環境の変化に対応できる
- 日常・災害時のどちらでも**情報提供**ができる
- 必要最低限の行政機能を持ち、**コストがかからない**
- **災害時の拠点**として、緊急時の対応ができる

STEP3 「新庁舎のコンセプト」 概要

- ・ 新庁舎の役割を果たすためのコンセプトを考えました。(下記抜粋)

STEP3 全体の傾向

- ・ すべての市民のサポートを円滑に行うことや、様々な人が共存するため、人々が交流することが求められていました。
- ・ 一方で庁舎は必要最低限の機能を持たせ、交流拠点は他の公共施設とする意見も出されました。

STEP3【代表的なご意見】(抜粋)

- **いつでもだれでも相談**できる頼りになる新庁舎
- **気軽に集いつながる**新庁舎(行政サービス以外の利用を含む)
- **新しい時代に対応**できる**未来**を見据えた新庁舎
- 市民の暮らしを守る**安心安全**な新庁舎
- 必要十分で**シンプル**な**コンパクト**新庁舎(交流拠点は他の公共施設へ)
- **みんなが使いやすい心と身体**の**バリアフリー**新庁舎
- 美濃加茂の**自然を活かした心地よい**新庁舎
- **地域の中心**となる、**シンボリック**な新庁舎
- **職員が生き活き**できる**働きやすい**新庁舎

第2回市民ワークショップまとめ

第2回市民ワークショップのご意見をまとめると、以下の通りです。

- ・ すべての市民が円滑に行政サービスや相談が受けられること(「市民に寄り添い、まもる行政」・「便利なまち」の実現)や、災害時の拠点となること(「安心安全なまち」の実現)、これらを担う職員が働きやすい環境であることが求められています。
- ・ 様々な人が共存するため、人々が交流することも求められている一方、「シンプルで必要最低限」といった、相反する意見も出されています。
新庁舎はどこまでの役割を担うべきか、連絡所の機能強化やほかの場所で補えることはないか、などについても考える必要があります。